

科目名	看護の統合と実践		単位(時間)	11 (280)	28・29期生	DP
担当講師名	専任教員 他				1年・2年次	1・2・3・4
科目設定理由	<p>看護の統合と実践は、基礎看護教育での最終段階に位置づけ、既習の知識・技術を統合し、より臨床実践に近い形で学習を深め、対象を総合的に捉え一人ひとりの対象のニーズに合った看護を提供できる基礎的能力を育成する。</p> <p>看護管理と医療安全では、医療システムの構造を理解し医療安全に関する知識・技術を学ぶ。看護管理の基本となる理論および看護管理過程を学び、看護管理の仕組みと機能を理解し組織における看護師の役割を理解する。</p> <p>災害看護Ⅰでは、災害時の組織的活動や、災害時の看護を理解し、災害時医療従事者の一員として地域の救護活動に参加するための基礎知識・技術を学ぶ。災害看護Ⅱでは、災害サイクルに応じた被災者の理解と看護の役割を理解する。国際看護では、グローバルヘルスの現状を踏まえ、国際看護活動や日本における多文化共生と看護の役割を学ぶ。臨床判断演習Ⅰでは既習の知識・技術を統合し、その時、その場での臨床判断に必要な基本的知識と技術を習得する。臨床判断演習Ⅱでは看護職としての対象の健康問題に対する臨床判断を行うため、看護・医療チーム体制を理解し、看護師として多職種と協働する中でリーダーシップおよびメンバーシップが理解できる。看護の探求Ⅰでは、看護における研究の意義と必要性を理解し看護研究の基礎を学ぶ。看護の探求Ⅱでは看護における研究手法の実際を学ぶ。また、自己の看護実践を振り返り、専門職業人として成長するための基礎を学ぶ。</p>					
科目構成	科目名	看護管理と医療安全	災害看護Ⅰ	災害看護Ⅱ	国際看護	
	単位時間	1単位 30時間	1単位 15時間	1単位 20時間	1単位 15時間	
	学習範囲	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全と看護の理念 2. 医療安全への取り組みと医療の質の評価 3. 患者と家族の協働と安全文化の醸成 4. 医療従事者の安全を脅かすリスクと対策 5. 人々の生活と看護の関わり 6. 看護師の仕事とその管理看護の質の向上 7. 看護管理に求められる能力 8. 看護職とキャリア 9. 看護と経営 10. 看護における医療事故と安全対策 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害看護の展開 2. 一次救命 3. 災害時における多職種協働 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害看護の基礎知識 2. 災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護 3. 被災者特性に応じた災害看護の展開 4. 災害と心のケア 5. 災害看護演習 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国際看護 2. 看護における国際化の視点 3. 国際機関の役割 4. 多様な文化を考慮した看護 5. 国際看護活動 6. 国際看護の課題 	
	科目名	臨床判断演習Ⅰ	臨床判断演習Ⅱ	看護の探求Ⅰ	看護の探求Ⅱ	
	単位時間	1単位 20時間	1単位 30時間	1単位 15時間	1単位 15時間	
	学習範囲	<ol style="list-style-type: none"> 1. チームで行う看護 2. 対象に合わせた看護実践 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 救命処置と看護 2. 二次救命処置 *ICLS 3. 様々な状況における多重課題と看護 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護研究とは 2. 事例研究とは 3. 文献検索の方法の実際 4. 研究の倫理的配慮 5. クリエイティブ 6. 研究企画書の書き方 7. 論文の書き方 8. 事例研究の実際を進め方 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事例研究・研究論文の作成 2. 研究発表 	
	科目名	統合実習				
	単位時間	3単位 120時間				
	実習のねらい	<p>統合実習は看護チームの一員として多職種との連携の中で対象の思いを尊重しながらこれまで学んだ知識・技術を統合し、その人らしい生活を目指した看護を行います。今回の実習は、「看護管理実習」「メンバー実習」「複数受け持ち実習」「夜間実習」という形態をとり、看護チームの一員として自ら考え、看護師と共に行動しながら学びましょう。看護管理では、病院及び病棟の組織や管理の実際を知る機会となります。病床管理・退院にむけての調整、災害時や医療安全の対策、対応など、患者の安全で快適な療養環境のためにどのような取り組みがなされているのか学びましょう。その中で看護職が担う役割について考えましょう。また質の高い看護を提供するためには、看護師一人一人がどのような役割を担い、チームの一員として協働しているのか学びましょう。</p> <p>専門分野の実習では患者一人を受け持ち、看護を実践してきた。統合実習では皆さんも看護チームの一員として複数の患者の看護をチームで情報共有し実践することを学ぶ。看護の場で起こる様々な状況の中で、患者の状態や、患者を取り巻く状況から必要な看護は何か、また、根拠に基づいた援助や複数の患者に対する援助の優先度をどの様に判断しているのか学びましょう。さらに夜間実習では、日中とは異なる環境の中で起こる様々な状況に対して、メンバーがどのように連携を図り、患者の安全を守りながら看護を展開しているのか学びましょう。夜間における患者への看護実践を体験することで、よりリアルな臨床現場をイメージできるでしょう。</p> <p>また、この実習での体験から責任ある行動について考え、将来に向けた自己の課題を明らかにし、専門職業人として自ら成長していける看護師を目指しましょう。</p>				